

福岡市民芸術祭参加行事

# BIRTH DAY 学生のバードハウス展

工学会研究部会 バードハウスプロジェクト  
 ◆建築学科二年 古川 洋

## BIRTH DAY 学生のバードハウス展 出展作品

建築学科では一年生の導入ゼミ「プロゼミナール」の一課題として、バードハウス（鳥の巣箱）という小さな住空間から未来の環境の新しい形を考える建築教育、自然環境と人間社会の共生を目指す環境教育を実践しています。ゼミではバードハウスのコンセプト作成とデザインのスケッチまでにとどまりましたが、そのスピノフ活動として作品製作を希望する学生により、工学会研究部会バードハウスプロジェクトを結成しました。そして第一回作品展を一月、第四回福岡市民芸術祭の参加行事として、福岡市東区千早の九州産業大学・九州造形短期大学コミュニティギャラリー（EastWings）において開催しました。

準備に一年をかけた建築学科一、二年生によるデビュー展。竹、木、和紙、紙粘土、鉄筋からハンガーまで、さまざまな材料を使い工夫に富んだ巣箱がつくられました。私自身は割り箸をたくさん使い、木が鳥にとつてどんなに大切なものなのかというのを逆説的に訴えました。鳥の住みやすさを求めたバードハウスもあれば、共同生活を



人と鳥をつなぐ小人  
2年 古川 洋



鳥箱照明  
2年 古川 洋



一瞬の命と一生の価値  
2年 古川 洋 1年 上妻瑞季 1年 藤田可菜



鳥提灯  
2年 矢野宏貴



休憩と視角と参加区～球形・四角・三角～  
2年 椎葉哲也



Bird's Tea House  
2年 山本泰輔

目指したバードハウスもあり、ふつうの箱型の巣とは全く異なる次元の住空間をデザインできました。

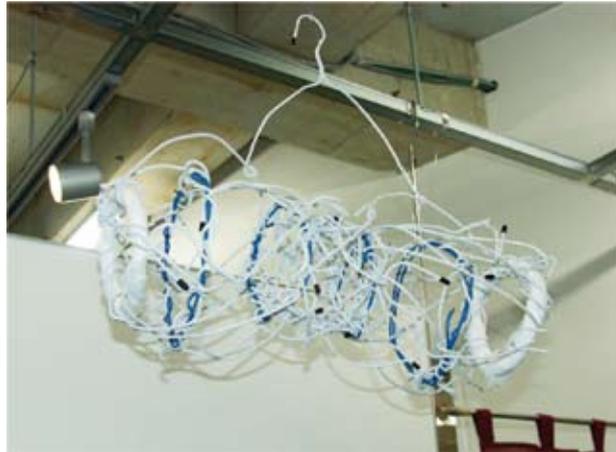
作品展の会場設営では照明計画や空間演出も経験することができました。作品製作以外でも学んだことはたくさんありましたが、私たちが一番学んだこと、感じたことは、行動を起こして経験することの大切さでした。

学生である私たちが一番有効に使えるものは時間です。学生は自由に考え自由に行動できるのではないかと私は考えています。経験することは大切です。社会でもいろいろなことが経験できますが、現実という大きな壁が襲いかかってくることもあります。しかし経験することによってまだ未開発の道が開かれるかもしれません。私はそう考えます。皆さんも学生である数年間で様々な経験をしてください。必ず後になって役立つはずです。私もこれからたくさんさんの経験をし、学び、たくさん技術と知識、知恵を身につけていきたいと思います。

バードハウスプロジェクトの活動とこの作品展は、私たちにとってとても良い経験になりました。私たち、工学会研究部会バードハウスプロジェクトは、第二回作品展と、この秋、中国の上海で開催される「学生たちがつくるバードハウスコンペ 2008 Birdhouse in Shanghai」への出展、入賞を目指し活動を前進させます。



たまご  
1年 酒井政志



お隣は〇〇さん  
1年 上妻瑞季



Piece  
1年 荒牧明良



竹鳥鳴語～たけとりなきがたり～  
2年 椎葉哲也



ひととき  
2年 榎本侑加



九星気学で鳥の運氣も九星鳥(急成長)!!  
2年 山本 豊



鳥の鳥分便～とりわけびん～  
2年 椎葉哲也